

特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2010年度第23回理事会議事録

- 1 日時 2010年6月5日(土) 13時30分～15時30分
会場 こうち男女共同参画センター プライベート室
- 2 理事総数および出席者数
理事総数 16名 出席者数 12名
出席理事 石川、橋本、坂本、上野、岡谷、兼松、小田、小松、滝石、西村、松本、谷地森
事務局 上田、近藤、塚崎
- 3 議長 議長 _____ 印
- 4 議事録署名人 議事録署名人 _____ 印 ・ _____ 印
- 5 議事録作成人 事務局 塚崎

議長は定款に基づき理事長が就いた。議事録署名人は上野理事、岡谷理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

6. 審議事項

1 総会に付すべき事項について

①第1号議案（総会資料第1号議案）

◇2009年度事業報告並びに収支決算に関する件について

事務局長より、各事業の報告がされた。

・総会当日はパワーポイントを使用し、写真を主体とした形式で報告する。

事務局長より、各事業における総括の報告がされた。

・交流スペースの提供については、利用者の目的が分かるよう、今年度よりカウンターの仕方を変更している。

・事業仕分けにより廃止となった事業についても、継続実施する方法を検討する。

【決定事項】

■2009年度事業報告並びに収支決算に関する件については承認された。

[意見]

○全国生涯学習フォーラム高知大会の開催日に誤りがある（総会資料p.10）。正しくは平成22年11月20日からである。

②第2号議案（資料1-2）

◇役員報酬に関する件について

役員（理事長、副理事長）報酬について審議をもとめた。提案理由は、法人税法の規定により、定期同額給与としないと損金扱いとならず、課税対象となるため。

【決定事項】

■役員報酬に関する事項については承認された。

[質問]

○21年度の役員報酬については、損金扱いにならなかったのか。

→損金扱いとはならなかった。

○会議等に出席しない場合でも報酬が発生するのか。

→発生する。

○役員報酬と会議の報酬は別では。

→定例会議以外に、臨時会議、業務実施の相談等の会務もあり、トータルで役員報酬と考えられる。

○講師派遣の謝金は出せるのか。

→講師謝金は、役員報酬に含まれる。講師謝金を出したとしても、損金扱いにならない。

2 2010年度事業計画及び収支予算について

①活動方針、事業計画について（総会資料報告事項第1号）

◇活動方針について

・理事会、運営委員会、部会、事務局の執行状態を整理した運営体制と活動方針が示された。

◇事業計画について

・可能な限りの目標値を示した。

[意見・質問]

○一年間を振り返り、県全体の環境施策を考えたとき、他県と比べて展開が遅れているように感じる。今年度の活動方針をもう少し充実させる必要があるのではないか。

○これまでの活動や人材をつなげていくことを今年度の重点目標としてすすめていくことができるだろう。この連携をいかに具体的に事業計画の中で膨らませていけるかが重要と思われる。

○活動方針へは「環境施策への立案、研究、提案をしていく」というような、具体的な文言を盛り込んだほうがよいのでは。

→あるべき姿の共有の中に含まれているが、それ以上に議論がすすんだということで総会では報告する。施策への提言となると、皆さんの知恵とご協力をいただきたい。

②2010年度収支予算について（資料2-2）

事務局長より収支予算案が示された。

・事業費→2 県民会議・県民部会事務局→②事業費の中には環境家計簿作成の委託事業が含まれている。

[決定事項]

■委託事業収入その他の200万円を自主財源にプラスし、自主財源の予算額を7,208,000円とする。総会では、自立事業にむけた活動のためにも必要な財源であることを説明し、会員の理解を得る。

[質問]

○自主財源の使途を明確にするべきだと思うが。

→主に人件費で、職員4名の体制を維持するため。自立事業の50万円も自主財源。

○委託事業収入→その他200万円とあるが、獲得の目処はある程度たっているのか。

→個別アドバイザー的にいくつか話しはあるが、まだ目処がたっていない。

○収入の部「自主財源」という項目があるが、これは全体の予算が増加することか。

→自主財源の予算の増加となる。現在ある資産を取り崩していくことになる。

○環境学習プログラムづくりの進捗状況は。

→プログラムを紹介するパンフレットを作成しているが、完成が遅れている。温暖化の情報も掲載し、県民運動促進事業の普及啓発資材作成費を活用することを運営委員会で決定した。

○賛助会員はいるか。今年は厳しい状況であるので、積極的に獲得する方法を。

→現在賛助会員はいない。積極的に集めるためにも、アピールできる資料が必要。

○全国環境学習フォーラムの全体予算には、環境問題のポスター作成費も含まれるか。

→含まれると思うが、なお確認してみる。

[確認事項]

○学校移動博物館「土佐の動物」について

外部で予算確保ができたが、学校で開催できるものではない。学校開催まで広められるかは7月末に判明する。

7. 検討事項

1 「環境の杜こうち」中期戦略を立てるために（検討資料1-1）

事務局長より、検討事項についてたたき台として提案し、意見を求めた。

[決定事項]

■運営委員と理事の情報共有のため、運営委員会の資料と議事録を理事に送付する。

■次回、第24回理事会は7月10日（土）10:00よりプライベート室にて開催する。

[確認事項]

○理事会に際しては意見と心構えを持って参加し、テーマに沿ってすすめていく。

○次回の理事会は、事前に論点を整理したうえで、事業評価軸の検討を行う。

[意見]

○機材貸出しの有料化。その際、会員と非会員で料金を差別化しては。

○課題を整理した上で、早めに理事に集ってもらい、定例会とは違う話し合いの場を持つか。

○年4回開催の定例会の位置づけを明確化したほうがよいのでは。

○開催時期が総会資料印刷後だと意見も出しづらく、形式的になる。例えば5月の運営委員会と合同で開催するのはどうか。

8. 報告事項

◇職員体制について

事務局長より、松本孝さんについては、本人からの申し出があり、常勤ではなくプロジェクト担当になった旨が報告された。

◇環境活動支援センター業務 平成21年度委託の業務評価報告書について（別紙報告資料）

理事長より、業務評価報告書をもとに直ちに業務改善が求められた事項について報告された。

◇県庁の内部評価について（報告資料2-1）

事務局長より、委託業務評価表をもとに報告された。

◇通常総会・意見交換会について

事務局長より、12日の通常総会開催前の意見交換会参加の呼びかけをした。

議長が閉会の挨拶をし、理事会が閉会した。